

つながる ひろがる

Link

パートナーズクラブ



Link パートナーズクラブ

2017年8月 第21号

パートナーズクラブ事務局

〒810-8721 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞社 西日本会事務局内

TEL 092(711)5190 FAX 092(711)5199



西日本新聞社

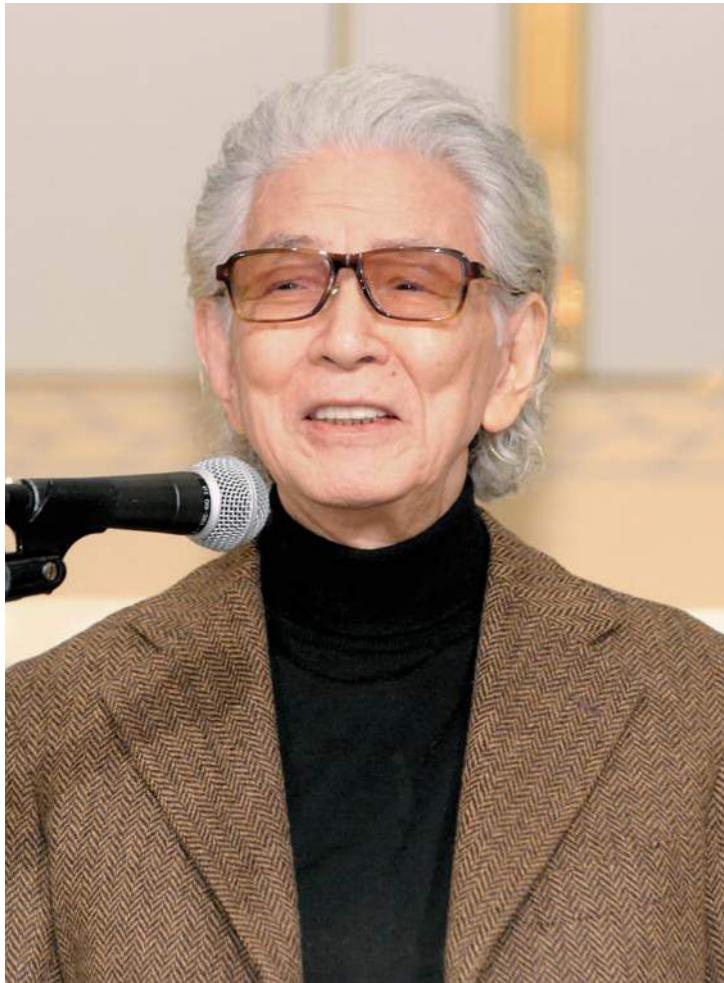
西日本新聞社

西日本新聞・西日本スポーツのご購読申し込みは



0120-44-0120

フリーダイヤル



西日本新聞創刊140周年記念 五木寛之 特別講演会 「いまを生きる力」

西日本会合同例会 支店長会などから460人参加

西日本新聞は、2017年4月17日で創刊140周年。これを記念して、3月29日に「西日本新聞創刊140周年記念五木寛之特別講演会」が福岡市博多区のホテル日航福岡で催されました。

西日本会に所属する西日本支店長会やパートナーズクラブ、西日本政経懇話会、地域フォーラムの合同例会の第6回例会として開催するもので、第1部は五木氏の特別講演会。西日本会の会員に加え、一般募集した参加者300人も来場しました。開会にあたり、西日本新聞社の柴田建哉代表取締役社長が壇上へ。「西日本新聞の創刊140周年として、超多忙な五木寛之氏に来ていただきました。今、連載が7、8本。さらに、ラジオの収録が毎日ということです。五木さんからお話を伺った中で印象的だったのが、ボブ・ディランのことです。ボブ・ディランはコンサートやライブを大切にしていて、レコードやCDはその結果であるということを例にして、自分もそうだと言われました。日々の連載は、毎日どうやって読者に読んでもらうかを大切にしている。その結果として単行本ができる。新聞も日々を大切に、そして読者を

日々を大切にすること

西日本新聞は、2017年4月17日で創刊140周年。これを記念して、3月29日に「西日本新聞創刊140周年記念五木寛之特別講演会」が福岡市博多区のホテル日航福岡で催されました。

西日本会に所属する西日本支店長会やパートナーズクラブ、西日本政経懇話会、地域フォーラムの合同例会の第6回例会として開催するもので、第1部は五木氏の特別講演会。西日本会の会員に加え、一般募集した参加者300人も来場しました。開会にあたり、西日本新聞社の柴田建哉代表取締役社長が壇上へ。「西日本新聞の創刊140周年として、超多忙な五木寛之氏に来ていただきました。今、連載が7、8本。さらに、ラジオの収録が毎日ということです。五木さんからお話を伺った中で印象的だったのが、ボブ・ディランのことです。ボブ・ディランはコンサートやライブを大切にしていて、レコードやCDはその結果であるということを例にして、自分もそうだと言われました。日々の連載は、毎日どうやって読者に読んでもらうかを大切にしている。その結果として単行本ができる。新聞も日々を大切に、そして読者を



表紙の写真
「波が描く砂模様」
撮影:升本 正勝(福津市在住)



例会Report
西日本新聞社創刊140周年記念
五木寛之 特別講演会「いまを生きる力」… 2~3

- 「天神再開発について」
福岡地所 代表取締役社長 榎本 一郎氏 …… 4~8
- 西日本支店長会&パートナーズクラブ
合同ゴルフ会 …… 9~10
- 第55回西日本大豪花火大会を楽しむ会 …… 11
- 2017年度 パートナーズクラブ役員 …… 12
- 西日本新聞社
平成28年度パートナーズクラブ実績 …… 12



ら、時代を反映して少し柔らかく変化しています。

2. 天神の歴史

今回の天神ビジネスセンターのコンセプトを練るうえで、天神の歴史をあらためて見詰め直す必要がありました。那珂川を挟んで、東が博多商人の町、西が福岡。天神は城下町・福岡地区の最も東側にあり、商人の町・博多と接した所です。黒田家の有力な家来の邸宅が立ち並んでいたエリアです。

福岡の中心は川端地区、呉服町地区でしたので、そこと比べると少し劣ったエリアでした。そこに岩田屋さんが開業し、西鉄さんが福岡の拠点ターミナルを造ったことで、一気に町が変わり始めました。

1970年代に第1次流通戦争があり、松屋レディス、博多大丸、天神コアなどができました。続いてソラリア・プラザがオープンした80年代の第2次流通戦争、その後90年代後半に大丸エルガーラ、岩田屋Z-SIDE、福岡三越ができた第3次流通戦争により、商業の集積が深まりました。

天神は、東京の丸の内とはちょっと違った商業の中心であったといふことが分かります。天神の西側

約するような動きもあります。福岡は若い女性が多い街で、人口も増えていて雇用ができるのです。

日本中からデーターセンターやコールセンター、スマートのゲームなどのプログラマーを、一番給料を安く集められるのは福岡ということです。新しい企業が進出しています。その結果、1万坪以上の安定的な需要が福岡に毎年流れ込んで来るにも関わらず、オフィスビルは建つていません。それを反映して15%まで上がったビルの空室率は、今は1%ほどに下がっています。

こういった状況の中で天神ビルが全部建つたとしても、まだ福岡のオフィスの需給バランスは崩れないと推定されます。

もう一つコンセプトを作るうえでの前提が、天神はさまざま要素がある街ということ。渡辺通りの西側に百貨店が多数あり、渡辺通りの東側には博多大丸があります。計画地より西南側は西日本最大のファッショントリニティです。さらに西に行くと、大名地区というおしゃれな専門店、飲食店が路面店で立ち並ぶエリアです。さは福岡のウオール街と呼んでもいい金融機関の支店が立ち並んでい

るエリア。昭和通りを越えると本銀行があることから、九州の金融の中心街といえます。

天神の東南側には、天神中央公園や市役所前広場、アクロスの緑園があり、文化施設のシンフォニーホール、行政機関があるエリア。天神ビッグバンエリアの面白い点は、三つのさまざまな性格を持つた地域が混ざり合った結節点みたいな要素を秘めていることです。この場所の開発は、結節点となるエリアの特性を踏まえた開発になります。

もう一つ考えなければならぬ要素が、海拔76.5mで再開発のビルの高さがそろうということ。東京のような高層ビルが大きくセットバックして広場をつくって立ち並ぶ形にはなりません。どんな形になるかというと、サイコロが10個並ぶよう立方体が横にどんどん並んでいくような再開発です。「それっていまいちだよね」と思われるかもしません。確かにデザイン上は限られてしまうのですが、ヨーロッパのロンドンやベルリンの中核部は、厳格な高さ制限がありますから、高さがそろった中で、一つ一つのファサードによって街並みが形成されています。天神もヨーロッパ的な高さのそろった街並みになります。

今、世界で勢いのあるデザイナーに、福岡へ来てもらい一緒に明治通りを歩いて、開発の前提条件を伝えて、それぞれの提案をいただきました。

トップバッターは、シュミット・ハンマー・ラッセン。ヨーロッパで新進気鋭のデンマークの建築家集団で造った柱が印象的です。銅の柱を少し型抜きといいますか斜めに

天神明治通り規制緩和地区



3. コンセプトの前提

天神ビッグバンエリアでは、容積率は元々80%ですが、そのためには起爆剤にしようという規制緩和の地区なのです。

この地区には築35年超えるビルが数多くあります。天神のど真ん中が再開発されない中でも、元気の良さを保っているので、ここが丸の成長は次の高みに移れるのではないかと期待されています。

天神ビッグバンエリアでは、容積率は元々80%ですが、そのためには起爆剤にしようという規制緩和の地区なのです。

天神ビッグバンエリアでは、容積率は元々80%ですが、そのためには起爆剤にしようという規制緩和の地区なのです。

4. デザインコンペティション

今回、建築家やデザイナーの方に依頼するときに、「10個サイコロが並びます。最初を我々が裏返し、隣がどんどん裏返していくときに、10個のサイコロがどんな風に並ぶと福岡の天神が、世界の中でもすてきな街並みになるかのアイデアをください」と話しました。

もう一つ、西鉄さんがリーダーシップを取っている天神明治通り再開発は、コンセプトをそろえようという話があります。そのコンセプトは、「アジアで最も創造的なビジネス街」で、キーワードは「アジア」「創造的な」です。

今、世界で勢いのあるデザイナーに、福岡へ来てもらい一緒に明治通りを歩いて、開発の前提条件を伝えて、それぞれの提案をいただきました。

トップバッターは、シュミット・ハンマー・ラッセン。ヨーロッパで新進気鋭のデンマークの建築家集団で造った柱が印象的です。銅の柱を少し型抜きといいますか斜めに

尖ったような形にして、太さを変えて各階のガラスのファサードのフレームの間に縦に入れることによつて、樹木が上に向かつて生えるようなイメージです。上からみると非常にきれいなデザインで、ビルの内部は、重厚でいて新しさを感じさせるインテリアを描いています。いかにも北欧らしい、ナチュラル的なデザインの提案をいただきました。

一方で福岡のオフィスの需要は、毎年1万坪(3万358平方メートル)強。一つには九州新幹線の全線開業により、九州の拠点を福岡に集まっています。

ある天神西の交差点から那珂川に至るまでの明治通り沿いのエリアで天神明治通り規制緩和地区、通称天神ビッグバンエリアと呼んでいます。このエリアの連鎖的な開発を官民一体となつて推し進めるものが、内のように刷新されると、ここが丸の成長は次の高みに移れるのではないかと期待されています。

天神ビッグバンエリアの場所では、再開発しても収支が合わないといふ問題がありました。誰も中心部を建て替えずに、修理をしながら賃貸していた方が良かつたのです。これが、今回の規制緩和により1400%に緩和されることによつて、数字が合つてくるので、これから一気に建て替えが進むことが期待されます。

高さ制限も67.5mから76.5mに緩和されました。高さ制限は他の地域がないもので、東京でも札幌でもすごく高層ビルがあります。福岡は福岡中のオーナーが困りました。福岡はリーマンの前、2007年から2年間、需要量の倍近い大量の供給が続きました。主に外資系のファンドや東京のデベロッパーが福岡に進出してきて、オフィスをどんどん建てたのです。その結果、空室率が5%ぐらいから一気に15%まで上がり、賃料が下がつたことです。怖がつてビルを建てなくなり、毎年5000坪(1万6540平方メートル)ぐらいうござつたことで、以後、福岡はリーマンの前、2007年から2年間、需要量の倍近い大量の供給が続きました。主に外資系のファンドや東京のデベロッパーが福岡に進出してきて、オフィスをどんどん建てたのです。その結果、空室率が5%ぐらいから一気に15%まで上がり、賃料が下がつたことです。怖がつてビルを建てなくなり、毎年5000坪(1万6540平方メートル)ぐらいうござつたことで、以後、

岡空港が近いため、天神では67.5mのビルしか建てられませんでした。

67.5mで容積率の1400%を消化しようとする、地下6階ぐらいまで掘ることになるので、現実的には不可能です。76.5mが、ぎりぎり1400%を消化できる高さです。

連鎖的な再開発が起こるうとしている環境の一つとして、福岡のオフィスビルの供給と需要の変化があります。デベロッパー側から見ると、供給よりも需要が上回つていると、賃料が高くなることから、新しいビルを造つても借り手がいるということになります。

福岡はリーマンの前、2007年から2年間、需要量の倍近い大量の供給が続きました。主に外資系のファンドや東京のデベロッパーが福岡に進出してきて、オフィスをどんどん建てたのです。その結果、空室率が5%ぐらいから一気に15%まで上がり、賃料が下がつたことです。怖がつてビルを建てなくなり、毎年5000坪(1万6540平方メートル)ぐらいうござつたことで、以後、



重松象平さんのデザイン案

「つて、渋滞の中、家族とほとんど会えない日々を送っている」と言うのです。

は「本社はシアトルやシリコンバレー、カリフォルニア。なのにアジアの拠点がシンガポールや東京にあるのは、自分たちもいや」と言うのです。「本社の人たちは、大自然の中で家から10分くらいで通つてきで、好きな時間に帰つて、ワーク・ライフ・バランスを保つた生活を家族とエンジョイしている。アジアの拠点の人たちだけが満員電車に乗

美しく見せるものです。壁面の所々に穴を空けて、ここを遊びに使う。入居者も休憩できるし、外から見てもぽこっと穴が開いた空間が見て楽しい。展示空間のように使おうという提案でした。この方の面白いのは、大分の美術館でも取り入れていますが、1階から3階ぐらいま

ような仕掛けです。ファサードは、
ヘキサゴン、六角形。「自然界の形
状で美しいものは六角形。蜂の巣
を見てみなさい」ということで、フ
アサードを六角形で造る提案でし
た。上空から見ると、非常にインパ
クトのある六角形のファサードの
ビルが天神に建つようなイメージ
です。エントランスからの吹き抜け
空間は、相当な高さを取つて、白と
赤のカラーがポップな印象の提案
でした。

そして日本代表。この方も巨匠
ですが、坂茂先生からもご提案い
ただきました。日本らしい提案で、
ファサードのガラスを青緑がかっ
たきれいなガラスを使うことで、

3番目はアメリカ代表ということで、ラファエル・ヴィニオリといふ。今回の中では最も巨匠と言われる方です。インパクトのあるファサードの提案で、明治通りを歩いていると、入り口から赤いエスカレーターに吸い込まれて上がっていく

で全部フルに開くような開閉式のガラスの窓にすることで、天気の良い日には全部開けて、福ビルとの間の因幡通り沿いを大開口にして、自然の風を取り入れるものでした。これもなかなか面白い提案でした。キリンの模型などを中間階の休憩できるアトリウム的な空間に置いて、そここの周りで憩えるようにしたもののです。

5. 天神ビジネスセンター コンセプト

世界の著名なデザイナーからいたいた提案を踏まえて、我々が天神ビジネスセンターのコンセプトやデザインをどのように決めたかについてお話をします。

アは700坪(2314平方メートル)強。これは、福岡では最大級で、東京の丸ビルや新丸ビルと同じワンフロアの面積です。それが16階建てになります。

福岡に足りないのは、商業空間よりもオフィス空間だと考え、商業空間は地下2階から1階までに抑えて、オフィスとしての用途を最大の面積にしています。地下2階で地下鉄に直結し、明治通り側にアトリウムと吹き抜け空間の大きさ

震や津波のときにでも、何日間供給され続けるのか。地震のときに揺れを抑える免震構造。ビルの性能は、「東京に負けない最高品質のものが福岡には無い」と言います。そして、遊びがなければいけない。それがワーク・ライフ・バランスのライフ。デザイン、内装、カフェで出していこうと思いました。そこで最終的に選んだデザイナーがオランダのOMA。レム・コールハースという世界の5本の指に入る巨匠

の1人です。この人の片腕である重松象平さんは九大出身で、私よりも一つ年上の43歳。今、米国・ハーバード大学の教師をしています。5年、10年したら、建築の世界でのノーベル賞であるプリツカー賞を取

高い方を選定しました。

サイコロが10個並ぶけれども、立方体のサイコロは形状として面白くない。そこに面白さを加えるためにどうするかというと、サイコロの斜めの角を、ペリペリと引きはがしたら



重松象平さんのデザイン案

割とスリムな形で格好良くなり
ます。「氷が解けていくようなイメ
ージ」という提案です。

ますが、ガラスのキューブ状の段々
が輝いて、重松さんの言葉で「ダイ
ヤモンドのブリリアントカットみ
たいな形で輝くようなデザイン」
になります。これを明治通り沿い
から見ると、ピクセルが際立つてい
ます。中から見ても、凹凸がキュー
ブ状に出ています。

インテリアでも遊びを取り入れます。ユニコーンを捕まえるためです。ニコラさんというフランスのインテリアデザイナーを選定しました。この方は、GINZA SIX

なオフィスエントランスを設けています。

天神ビッグバンのトップバッターとして、福岡の成長の起爆剤になるような開発をしなければならない。福岡の良い点と課題は何かというと、福岡の長所はクオリティ・オブ・ライフです。イギリスの情報誌「モノクル」の「世界で最も住みやすい都市2016」の第7位に福岡が選ばれています。コペンハーゲンやメルボルンなどと並んで、京都より上に福岡があります。子育てがしやすい、車で20分ほど移動すればゴルフ場や海、山があります。それでいて、美術館や博多座のような劇場で文化も楽しめて、ある程度の産業の集積があります。一方、課題は所得が低いこと。東京の70%ほどの所得なのです。福岡が克服しなければならない最大の課題と思っています。

ここで弊社が立てた仮説として、福岡は世界の中でどういう都市を目指していくべきかを考えると、それはシアトルやシリコンバレーでした。太平洋に面するシアトルは、ロッキー山脈がある自然豊かな都市で人口69万人。ここに、マイクロソフト、スターバックス、アマゾンという世界の中で最も成長している企業の本社があり、その

人たちのサラリーは東京よりも圧倒的に高いのです。住みやすさを犠牲にしなくとも、東京に負けないような所得があつて、イノベーションがある産業的な成長のある都市が目指せると考えています。

福岡の目指すべき方向は、シリコンバレーでありシアトル。そのために必要なのは、ITやAIなどの急成長する企業の集積と考えています。

こういう福岡の目指すべき方向性の仮説を踏まえて、天神で手掛ける再開発はどんなコンセプトでなければいけないのか。一つのキー・ワードがワーク・ライフ・バランスです。例えば昼休みに15分で家に帰つて、子どもと一緒に食事をして、また会社に戻る。それでいて、世界の中でも極めて付加価値の高いものを、やりがいを持つてやる。そういう高度な付加価値を生み出せる人材が集うような街です。

ユニコーンというのは、設立して数年の間に日立を追い抜き、トヨタに追いついていくようなウーバー・エアビーアンドビー、かつてのフェイスブック、グーグル、アマゾンのような企業。こういうユニコーンが数頭棲息する天神を生み出せないか。ユニコーンをまだつかまえていませんが、話をしていると彼ら

の内装を手掛けています。

福岡地所 代表取締役社長
えの もと いち ろう
榎本 一郎

福岡市出身、1974年生まれ。97年、東京大学法学部卒業。同年、日本興業銀行(現みずほ銀行)入行。2001年、同行退職後、米国ノースウエスタン大学ケロッグ経営大学院に学びMBA取得。03年、福岡地所に入社。常務、専務を経て、15年に社長就任。



西日本支店長会&パートナーズクラブ 合同ゴルフ会 成績表

(敬称略)

賞	氏名	会社名	所属
優勝	田重田 博	富士ゼロックス福岡	支店長会
準優勝	水津文隆	日本製紙	パートナーズクラブ
3位	本郷孝博	丸紅	支店長会
4位	深水秋光	ミナミ商事	パートナーズクラブ
5位	横山典明	パナソニック エコソリューションズ社	支店長会
6位	高江洲文雄	ミライト・テクノロジーズ	支店長会
7位	大渕博義	安川電機	支店長会
8位	東隆介	平和不動産	支店長会
9位	山本輝正	大洋ヒロセ	支店長会
10位	徳田瑞穂	ジュピターテレコム	支店長会
24位(西日本新聞社賞)	春藤昭晴	前田道路	支店長会
27位(当日賞)	山田伸彦	三井不動産リアルティ九州	支店長会

西日本支店長会&パートナーズクラブ 合同ゴルフ会

「西日本支店長会&パートナーズクラブ合同ゴルフ会」を5月27日(土)、福岡市東区の福岡カントリー倶楽部和白コースで開催し、新聞社5名を含む66名が参加しました。雲ひとつない晴天に恵まれたなか、保険の窓口レディーストーナメントが行われた名コースを楽しくプレーされました。

栄えある優勝は、田重田博(富士ゼロックス福岡)、D.S.営業統括部長でした。ベストグロス賞は、本郷孝博(丸紅)九州支社長でした。ベスト10内は、支店長会会員が8名、パートナーズクラブ会員2名でした。皆さまのゴルフウエアもとてもプロアッショナブルで、晴天下の鮮やかなグリーンに映えていました。

ホールアウト後の佐藤浩司プロのワンポイントレッスンにも、多くの参加者が熱心にアドバイスを受けておられました。次回のコンペで役立つと思います。

多くの賞品のご提供をいただきました各社様には誌上をお借りしまして厚くお礼申し上げます。お陰さまで、参加者全員にご提供賞品を持ち帰つていただきました。

あらためまして、参加会員皆さまのご協力で何事もなく楽しいゴルフ会となりました。有難うございました。次回は、政経懇話会と地域フ

「西日本支店長会&パートナーズクラブ合同ゴルフ会」を5月27日(土)、福岡市東区の福岡カントリー倶楽部和白コースで開催し、新聞社5名を含む66名が参加しました。雲ひとつない晴天に恵まれたなか、保険の窓口レディーストーナメントが行われた名コースを楽しくプレーされました。

「西日本支店長会&パートナーズクラブ合同ゴルフ会」を11月18日(土)、若宮ゴルフクラブで行います。多くの参加をお待ちいたします。



「西日本支店長会&パートナーズクラブ 合同ゴルフ会」賞品提供社(五十音順)

- アサヒ飲料 九州支社
- アサヒビール 九州統括本部
- 味の素ゼネラルフーズ 九州支社
- 伊藤園 福岡支店
- ANAクラウンプラザホテル福岡
- 江崎グリコ 九州菓子食品統括支店
- カゴメ 九州支店
- キッコーマン食品 九州支社
- キリンビール 福岡支社
- キリンビバレッジ 九州地区本部
- 熊谷組 九州支店
- グランド・ハイアット・福岡
- 月桂冠 九州営業部
- サッポロビール 九州本部
- ジュピターテレコム
- ダイドードリンコ 西日本第二営業部
- 西鉄グランドホテル
- 日本たばこ産業 九州支社
- 博多エクセルホテル東急
- 福岡昭和タクシー
- 福岡ソフトバンクホークス
- ホテルオークラ福岡
- ホテル日航福岡
- ホテルニューオータニ博多
- 丸住製紙 九州支店
- 三好不動産
- 明治 西日本支社
- 森永乳業九州 営業本部
- モロゾフ 福岡支店



2017年度 パートナーズクラブ役員

(順不同、敬称略)

役職名	氏名	会社名・団体名	所属・役職
会長	芦塚 日出美	(株)博多座	取締役相談役
副会長	仲村 泰臣	西部通送(株)	代表取締役社長
	伊藤 明	日本製紙(株)	九州営業支社長(新任)
	金子 直幹	福岡昭和タクシー(株)	代表取締役社長
幹事会	新井 洋子	エントリーサービスプロモーション(株)	代表取締役社長
	藤延 昭弘	(株)九電工	福岡支社長
	早川 和清	大商印刷(株)	代表取締役社長
	斎藤 秀和	(株)竹中工務店	九州支店 営業部長
	吉田 透	西日本鉄道(株)	総務広報部長(新任)
	吉田 泰彦	(株)福岡銀行	取締役副頭取
	岡本 行雄	富士通(株)	九州支社長(新任)
	前田 弘毅	富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)	九州支店長(新任)
	松本 茂規	(株)三好不動産	執行役員社長室部長
	並田 正一	西研グラフィックス(株)	代表取締役社長
監査	波田 英次	(株)ハダ工芸社	代表取締役

平成29年3月31日

西日本新聞社平成28年度パートナーズクラブ実績

(単位:円)

収入の部			支出の部		
収入項目	金額	備考	支出項目	金額	備考
前期繰越金	780,447		講師関連費	25,762	講演会講師謝礼他
通常年会費	3,849,000	36,000円×106社+途中入会33,000円	会場費	1,506,216	例会、交流会など(食事代含む)
特別会費	947,000	ゴルフ会、大濠花火、放生会など課外活動会費	製作印刷費	1,097,301	会報誌、例会など案内状印刷代
新年刺広告料	2,116,800	新年名刺広告協賛金	通信・交通費	175,612	例会案内ハガキ、リンク等発送代他
その他収入	550,000	西日本会からの運営補助金として	傭人費	540,000	事務業務等委託費として
			会議費	267,016	諸業務打合せ、役員会
			課外活動費	1,437,776	特別鑑賞会、幕出し、ゴルフ会など
			事務費	3,393	事務用品費
			新年名刺広告料	1,693,980	新年名刺広告掲載料他
			新年名刺交換会	1,000,000	年賀会経費分担金として
			小計	7,747,056	
			次期繰越金	496,191	
合計	8,243,247		合計	8,243,247	

上記収支表およびパートナーズクラブプロジェクト元帳を厳正に点検しました。結果、適正に処理されていることを確認しました。

平成29年6月12日

パートナーズクラブ 監査

株式会社ハダ工芸社 代表取締役

波田 英次

監査 西研グラフィックス株式会社 代表取締役社長

並田 正一

第55回西日本大濠花火大会を楽しむ会



8月1日、「第55回西日本大濠花火大会を楽しむ会」を西日本支店長会とパートナーズクラブ合同で開催しました。ご夫婦や家族連れ、会社の同僚など100名の参加がありました。会場の鑑賞スペースの関係もあり、約20名のキャンセル待ちができるほど人気のある課外活動となりました。

この日の福岡市は猛暑日だったのですが、会場内は天国。クラークが効いた会場でビュッフェスタイルの美味しい料理を楽しんでいただきました。食事後はテラスに移動しての花火鑑賞。

午後8時に開幕し、ドーンという音とともに赤、青、緑、金色の大輪の花が開き、テラスからは歓声と拍手が沸き起こりました。ファナーレの仕掛けナイヤガラの滝まで1時間半にわたり夜空と水面に色とりどりの光が揺れる花火を大いに満喫していました。間断なく打ちあがる花火約6千発が都心の夜空を彩り、人出は約41万人でした。

こんな所から見れるなんて素敵、と参加者の皆さまは大喜びでした。

